

緑立つ道南へ! 第二京阪道路の一日も早い全線開通が望まれています。

●関西文化学術研究都市「けいはんな」/氷室・津田地区
津田サイエンスヒルズ
全線開通すれば、より多くの人たちにご利用いただけます。



株式会社イオン工学センター・研究所
http://www.ion-eng.co.jp/

サイエンスヒルズ内の施設

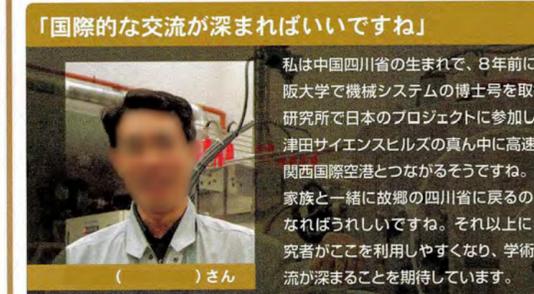
津田サイエンスヒルズにあるイオン工学センター・研究所 京都・大阪・奈良の三府県にまたがる緑豊かな京阪奈丘陵に、整備が進められているのが関西文化学術研究都市「けいはんな」です。12の文化学術研究地区では70を超える研究施設や大学などが活動しています。枚方市の東部に位置する津田サイエンスヒルズは12の文化学術研究地区の一つ。ここにイオン工学センターが、1988年11月に設立されました。この施設は先進のイオン工学装置群を整備して内外の利用者に開放し、技術協力も含めたお手伝いをしている施設です。イオン工学とは、物質を構成している原子や電子をイオン化して自然界には存在しない性質を持った物質をつくり出す技術で、無限の可能性を秘めているのです。

株式会社イオン工学センター・研究所 さん
サイエンスヒルズ内の施設
大阪大学大学院工学研究科自由電子レーザー研究施設
学術・交流施設「津田サイエンスコア」
枚方・交野・八幡方面が一望できる津田サイエンスコア内のレストラン・カフェ



■津田サイエンスヒルズ（構想模型）
文化学術研究ゾーン
自由電子レーザー研究施設
イオン工学センター・研究所
「緑立つ道」事業中
住宅ゾーン
真ん中を通る「緑立つ道」

「国際的な交流が深まればいいですね」
私は中国四川省の生まれで、8年前に来日し、大阪大学で機械システムの博士号を取得してこの研究所で日本のプロジェクトに参加しています。津田サイエンスヒルズの真ん中に高速道路が通り、関西国際空港とつながるそうですね。毎年1回は、家族と一緒に故郷の四川省に戻るので、便利になればうれしいですね。それ以上に、海外の研究者がここを利用しやすくなり、学術・研究の交流が深まることを期待しています。



KEIHANNA 関西文化学術研究都市

「けいはんな」を訪ねてみよう。その一つ、精華・西木津地区をご紹介します。

- 私のしごと館
人と職業の出会いのために、さまざまな職業を「見て、触れて、体験して、考えて、学ぶ」施設です。
http://www.shigotokan.keihanna.jp/ TEL:0774-98-4510
- けいはんな記念公園
巨大な石組がある日本庭園「水景園」や高さ10mから庭園が鑑賞できる「観月橋」、芝生広場などがある、水と緑あふれる公園です。
TEL:0774-93-1200
- 国立国会図書館関西館
18歳以上の方なら、閲覧室への入室と資料の利用ができます。
http://www.ndl.go.jp/keihanna/ TEL:0774-98-1100 (代)
- けいはんなプラザ
レンタルラボ、ホテル、レストランなどを備えた文化・学術・研究の交流施設です。
http://www.keihanna-plaza.co.jp/ TEL:0774-95-5111 (代)

大山崎I.Cが完成しました。



昨年12月24日、すでに開通していた大山崎J.C.Tに加え、大山崎I.Cが完成しました。これにより、高速道路と国道171号の乗り降りが可能になりました。また、名神高速道路・京滋バイパスも利用しやすくなりました。一定先の12月13日には、桂川にかかる天王山大橋が開通して国道478号が国道171号と接続。大山崎町と久御山町を結び、新しいアクセス道路が完成しました。

「緑立つ道」ハイキングに参加したよ!

平成15年 10/25(土) 13時~17時
毎年、定員の5倍近くのご応募を頂く「緑立つ道」ハイキング。今年で6回目を迎えました。当日は爽やかな秋の晴天の下、72名の方にご参加いただきました。

- 流れ橋交流プラザ四季彩館
「緑立つ道」について、わかりやすく説明をうけたよ。
みんな真剣です。
- 内里ポケットパーク
騒音やチリを緩和してくれる、緑いっぱいのお散歩道だよ。「緑立つ道」新聞Vol.40の表紙になったところだよ!
- 府道富野野八幡線交差橋工事現場
ふだん入ることができない工事現場ではスケールの大きさにビックリ。
カメラ目線、/チリ/
- 環境施設帯
枚方南側から枚方東I.Cまではすべてハイキング。ながめもよくなって気持ちよかったよ。

みなさまありがとうございました。
詳細は遠達国道事務所のホームページで見ることができます。
http://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa/08/2003hiking.html#top



JR「星田」駅の近く、寝屋川北I.C(仮称)周辺の基礎工事を開始しました。

「緑立つ道」の寝屋川北I.C(仮称)周辺で、橋梁の基礎工事を開始しました。工事に際しては、周辺にご迷惑がからないような環境に配慮した工法を採用し、工事の影響を把握できるように、家屋の状態や電波障害など各種の事前調査も行っています。また、設計段階や工事着手前には説明会を開き、地元の方からのご意見を取り入れながら工事を行っています。今後も皆様のお声をお聞きしながら工事を進めてまいります。

こんな工夫をしています。

<p>振動や騒音が少ない工法を採用しました。</p> <p>遠達国道事務所 河合良治 監督官 ドリルのように土をかき混ぜながら、くいをゆっくり押し込む工法なので、くいを打ち込むような、大きな振動や騒音がありません。</p>	<p>工事車両には目印をつけています。</p> <p>(株) 関組 辻次所長 「緑立つ道」の工事用車両にはゼッケンなどを取り付けて、一目で関係車両だとわかるようにしています。</p>	<p>現場の汚れた水は外に出しません。</p> <p>JH枚方工事事務所 茂利一 工事長 工事現場で発生する泥水は工事現場内の沈砂池に集めます。その後、上澄みだけを排水します。</p>	<p>仮囲いで安全を確保します。</p> <p>清水建設(株) 井上和男 所長 工事現場には仮囲いを設けて安全を確保するとともに、騒音やほこりの周辺への影響を軽減しています。</p>	<p>生活道路を大切にします。</p> <p>JH枚方工事事務所 和田雄志 工務課長 工事現場内の既存の道路は迂回路を設け、その機能を確保します。また、古くからある山根街道も分断しないように残しています。</p>
--	--	---	--	---

このように、「緑立つ道」は用地を取得して、周辺のご理解をいただき、条件の整ったところから工事に着手していきます。「緑立つ道」は平成10年代後半の全線開通をめざして、工事を進めてまいります。

